

新経済大国日本

運用報告書(全体版)

第41期

(決算日 2020年8月24日)

(作成対象期間 2020年2月26日～2020年8月24日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式
株式組入制限	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
37期末(2018年8月24日)	円 12,480	円 0	% △ 3.4	1,709.20	% △ 3.7	% 90.4	% —	% —	百万円 2,362
38期末(2019年2月25日)	11,688	0	△ 6.3	1,620.87	△ 5.2	94.6	—	—	2,897
39期末(2019年8月26日)	11,314	0	△ 3.2	1,478.03	△ 8.8	96.1	—	—	2,692
40期末(2020年2月25日)	11,705	150	4.8	1,618.26	9.5	92.3	—	—	2,737
41期末(2020年8月24日)	12,289	200	6.7	1,607.13	△ 0.7	97.8	—	—	2,553

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

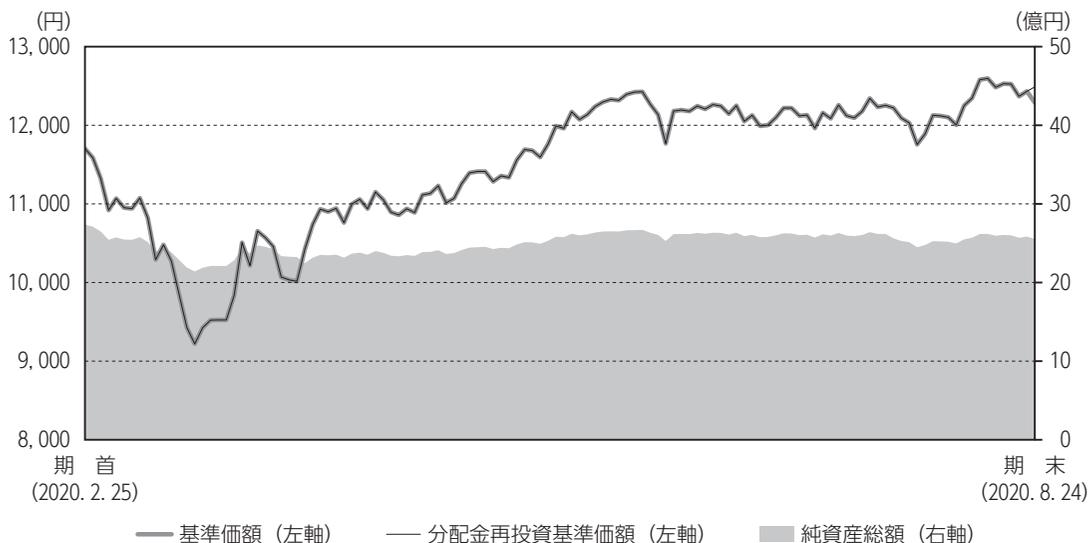
(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：11,705円

期末：12,289円（分配金200円）

騰落率：6.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の懸念により国内株式市場は下落しましたが、主要国の中央銀行による金融緩和策や経済活動の再開進展などを背景に、当ファンドが組み入れているグローバルでも競争力のあるクオリティの高い企業の株式が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		T O P I X (参考指数)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2020年2月25日	11,705	—	1,618.26	—	92.3	—
2月末	10,920	△ 6.7	1,510.87	△ 6.6	91.3	—
3月末	10,457	△ 10.7	1,403.04	△ 13.3	90.3	—
4月末	11,230	△ 4.1	1,464.03	△ 9.5	94.0	—
5月末	12,074	3.2	1,563.67	△ 3.4	92.2	—
6月末	12,127	3.6	1,558.77	△ 3.7	92.8	—
7月末	11,755	0.4	1,496.06	△ 7.6	96.9	—
(期末)2020年8月24日	12,489	6.7	1,607.13	△ 0.7	97.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 2. 26 ~ 2020. 8. 24)

国内株式市況

国内株式市況は下落しました。

国内株式市況は、当作成期首より、中国における新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたことに続き、中国以外における世界的な感染拡大が懸念され下落しました。2020年3月下旬以降は、主要国の中央銀行による金融緩和策を受けて株価は上昇に転じました。新型コロナウイルスの新規感染者数がピークアウトしてきた欧米で経済活動の再開が進展したことや、国内でも5月下旬に緊急事態宣言が全面解除されたことなどが好感されました。6月から当作成期末にかけては、米国において新型コロナウイルスの感染拡大が再び懸念されたことで株価は頭打ちとなり、一進一退の推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

新型コロナウイルスの感染拡大による企業・個人の経済活動の停滞が懸念されるなど、国内株式市場を取り巻く投資環境は楽観を許さない状況と考えています。一方で、国内株式市場はこのような投資環境の不透明感を相応に織り込んでいると考えています。また、日本・米国・欧州における緩和的な金融政策や各国の景気対策の推進などが世界経済や金融市場の下支え要因になるとみており、国内株式市場は上にも下にも振れやすい不安定な推移を想定しています。国内外の経済指標や企業業績、各国の政策、新型コロナウイルスの動向などを注視しながら、投資環境の方向性を見極めていく方針です。

当ファンドの運用にあたっては、個別銘柄の選別を重視する考えです。各銘柄の経営戦略やビジネスモデル、競争力・開発力などを精査し、中長期的な業績拡大が期待される銘柄を中心にポートフォリオを構築していく方針です。

ポートフォリオについて

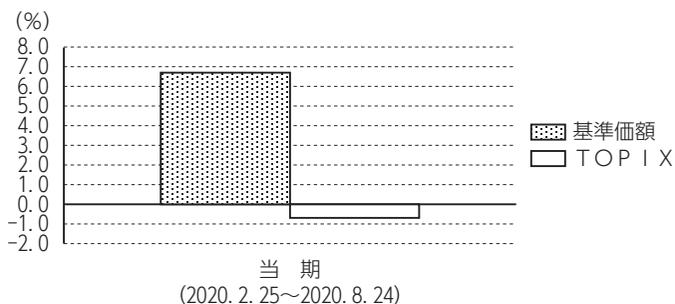
(2020. 2. 26 ~ 2020. 8. 24)

グローバルな大競争時代を勝ち抜き、経済大国日本復活への推進力となることが期待される企業の株式を中心に投資し、株式組入比率は90%程度以上を維持しました。業種構成は、電気機器、情報・通信業、機械などの組入比率を高位にしました。個別銘柄では、ダイキン工業、テルモ、トヨタ自動車などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年 2月26日 ～2020年 8月24日	
当期分配金（税込み）	（円）	200
対基準価額比率	（％）	1.60
当期の収益	（円）	89
当期の収益以外	（円）	110
翌期繰越分配対象額	（円）	5,575

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 89.49円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	3,286.23
(d) 分配準備積立金	✓ 2,399.44
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5,775.17
(f) 分配金	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	5,575.17

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンドでは引き続き、グローバルな大競争時代を勝ち抜くことで経済大国日本復活への推進力となり、企業価値の向上が期待される企業の株式を中心に投資を行う方針です。企業価値の向上が期待される企業とは、事業が生み出すキャッシュフローを、資本コストを上回る十分なリターンが見込まれる事業に再投資することで、業績を拡大させることができる企業であると考えています。また、長期には株価は企業価値を正しく反映するとの哲学に基づき、企業価値の向上が期待される企業への投資を続けることで、良好なリターンを得ることができると考えています。上記を踏まえ、中長期的な視点から保有銘柄や投資候補銘柄の事業環境や業績動向、成長戦略の進捗状況などを精査し、個別銘柄の選別を重視した運用を行っていきます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 2. 26~2020. 8. 24)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	94円	0. 816%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 500円です。
(投 信 会 社)	(43)	(0. 376)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0. 386)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0. 054)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	11	0. 095	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0. 095)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	105	0. 914	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

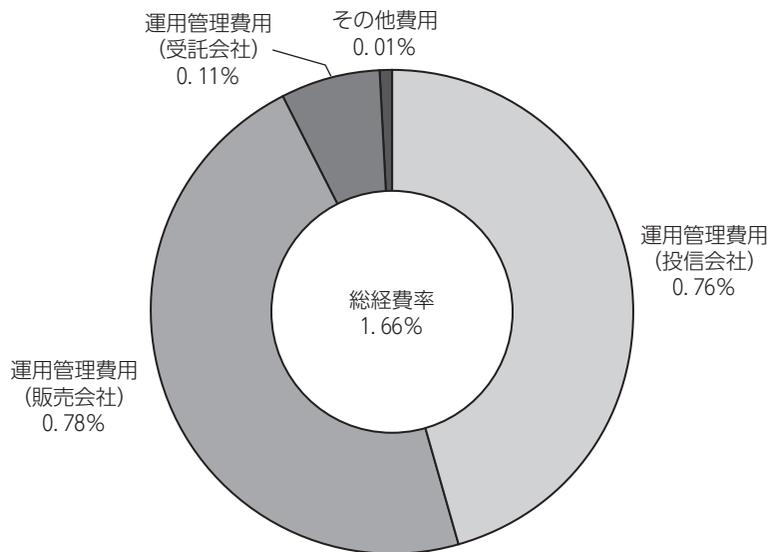
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況 株 式

(2020年2月26日から2020年8月24日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
国内	千株 274.4 (5.2)	千円 1,009,825 (—)	千株 393.6	千円 1,173,229

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年2月26日から2020年8月24日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,183,055千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,328,497千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.93

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 株 式

(2020年2月26日から2020年8月24日まで)

買 付	当 期			売 付	当 期		
	銘 柄	株 数	金 額		平均単価	銘 柄	株 数
MonotaRO	27	119,130	4,412	SG ホールディングス	42.6	131,511	3,087
パンダイナムコHLDGS	15	89,168	5,944	信越化学	8.9	110,464	12,411
積水化学	55	85,146	1,548	光通信	4.5	106,476	23,661
トヨタ自動車	11.6	84,506	7,285	キーエンス	2.3	102,212	44,440
任天堂	1.9	82,879	43,620	資生堂	16.6	96,780	5,830
野村総合研究所	26	75,708	2,911	オリエンタルランド	6.7	84,050	12,544
旭化成	90	73,843	820	ソニー	9.5	79,249	8,342
第一三共	10.5	72,878	6,940	村田製作所	12.3	78,353	6,370
HOYA	7	72,362	10,337	三菱商事	26.5	62,059	2,341
GMO ペイメントゲートウェイ	6	69,716	11,619	ENEOS ホールディングス	163.8	59,430	362

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

(2020年2月26日から2020年8月24日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
株式	百万円 1,009	百万円 480	% 47.5	百万円 1,173	百万円 636	% 54.2
コール・ローン	18,890	—	—	—	—	—

(2) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2020年2月26日から2020年8月24日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,405千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1,513千円
(B) / (A)	62.9%

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
国内株式

銘柄	期首	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
建設業 (0.6%)			
日本国土開発	68.6	25	14,300
化学 (9.4%)			
旭化成	—	90	79,470
信越化学	13.9	5	63,950
積水化学	—	55	91,960
資生堂	16.6	—	—
医薬品 (8.1%)			
武田薬品	33.5	25	101,175
第一三共	—	10.5	100,789
石油・石炭製品 (—)			
ENEOSホールディングス	163.8	—	—
機械 (9.8%)			
SMC	1	1.6	94,384
ダイキン工業	8	7.5	149,175
電気機器 (19.0%)			
日本電産	5.2	16	140,896
ソニー	19.5	10	84,070
キーエンス	4.4	2.1	91,476
村田製作所	23.3	11	70,488
東京エレクトロン	3.2	3.1	86,304
輸送用機器 (5.8%)			
トヨタ自動車	8.9	20.5	144,832
精密機器 (8.8%)			
テルモ	23	35	148,190
HOYA	—	7	71,995
その他製品 (9.3%)			
バンダイナムコHLDGS	—	15	99,180
任天堂	0.9	2.3	131,836
陸運業 (4.0%)			
東急	84	74	99,826
SGホールディングス	42.6	—	—
情報・通信業 (13.3%)			
GMOペイメントゲートウェイ	—	6	71,880
野村総合研究所	—	26	76,934
ミンカブ・ジ・インフォノイト	0.4	—	—
日本ユニシス	39	29	89,320
光通信	8.1	3.6	93,024

銘柄	期首	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
卸売業 (—)			
三菱商事	26.5	—	—
小売業 (3.0%)			
Monotaro	—	17	74,970
銀行業 (—)			
三井住友フィナンシャルG	14	—	—
不動産業 (2.4%)			
三井不動産	32.6	33	60,835
サービス業 (6.6%)			
オリエンタルランド	12.2	5.5	75,350
リクルートホールディングス	16.3	20.3	76,125
ウェルビー	8	8	14,000
コプロ・ホールディングス	0.5	—	—
合計			
株数、金額	千株	千株	千円
	678	564	2,496,735
銘柄数<比率>	27銘柄	28銘柄	<97.8%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年8月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	2,496,735 千円	93.4 %
コール・ローン等、その他	175,532	6.6
投資信託財産総額	2,672,267	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月24日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,672,267,572円
コール・ローン等	113,344,918
株式(評価額)	2,496,735,500
未収入金	59,752,854
未収配当金	2,434,300
(B) 負債	118,867,275
未払金	51,959,851
未払収益分配金	41,554,993
未払解約金	4,664,463
未払信託報酬	20,620,229
その他未払費用	67,739
(C) 純資産総額 (A - B)	2,553,400,297
元本	2,077,749,690
次期繰越損益金	475,650,607
(D) 受益権総口数	2,077,749,690口
1万口当り基準価額 (C / D)	12,289円

* 期首における元本額は2,338,506,855円、当作成期間中における追加設定元本額は23,083,173円、同解約元本額は283,840,338円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,289円です。

■損益の状況

当期 自 2020年2月26日 至 2020年8月24日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	20,963,969円
受取配当金	20,996,354
受取利息	635
その他収益金	98
支払利息	△ 33,118
(B) 有価証券売買損益	162,130,311
売買益	340,936,353
売買損	△ 178,806,042
(C) 信託報酬等	△ 20,688,633
(D) 当期損益金 (A + B + C)	162,405,647
(E) 前期繰越損益金	278,152,851
(F) 追加信託差損益金	76,647,102
(配当等相当額)	(682,797,582)
(売買損益相当額)	(△ 606,150,480)
(G) 合計 (D + E + F)	517,205,600
(H) 収益分配金	△ 41,554,993
次期繰越損益金 (G + H)	475,650,607
追加信託差損益金	76,647,102
(配当等相当額)	(682,797,582)
(売買損益相当額)	(△ 606,150,480)
分配準備積立金	475,584,324
繰越損益金	△ 76,580,819

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示してあります。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	18,595,121円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	682,797,582
(d) 分配準備積立金	498,544,196
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,199,936,899
(f) 分配金	41,554,993
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,158,381,906
(h) 受益権総口数	2,077,749,690口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	200円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。